



同団は自己研さんや地域貢献活動をとおして、自ら考え行動できる人材育成を行っており、その活動や団体の団結力などが評価されての受賞となりました

ガールスカウトが県社会教育優良団体表彰を受賞

地域での社会教育の振興に貢献し、顕著な業績を有する社会教育関係団体に贈られる、『宮崎県社会教育優良団体表彰』をガールスカウト宮崎県第14団（小林市）が受賞しました。少女と若い女性の健全育成に関わる社会教育団体として平成18年に発団。積極的な地域活動でイベントの応援や、福祉・環境問題にも取り組んでいます。

若い力の後押しを！各高校に寄付

12月14日、市区長会が体育・文化振興のために市内3つの高校（小林高校、小林秀峰高校、小林西高校）へ寄付を行いました。橋ノ口孝一区長会長は「区・組加入世帯の協力によるもの。子どもたちのために役立ててほしい」と話しました。



はしのくちこういち

イルミ×食×音楽で特別なクリスマス

12月25日、小林駅南でイルミネーションを見ながら食事や音楽が楽しめる「ILLUMINATION CHRISTMAS」が開催されました。参加者は、キッチンカーなどで販売された温かい食べ物などを味わいながら、地元シンガーによるクリスマスソングを楽しみました。



市の社会教育の推進に貢献 里岡さんが社教連合表彰を受賞

社会教育委員として、地域の発展に貢献した人に贈られる、『全国社会教育委員連合表彰』を本市社会教育委員の里岡洋子さん（真方）が受賞しました。里岡さんは社会教育委員を平成14年から19年以上努め、同委員副会長やその他のボランティア活動を精力的に取り組むなど、市の社会教育の推進に貢献する活動が認められました。



里岡さんは、文化連盟事務局や文化会館のホールボランティア、文化財ガイドボランティアなどの活動も長く続けています

自分で描いたイラストが動く アニメーション制作体験イベント開催

12月25日、小林まちづくり株式会社主催のアニメ制作体験イベント「Xmas こばやしアニメスクール」が開催され、16組32人が参加しました。講師は「みやざきアニメ塾」を運営する株式会社ライスフィールドが務め、参加者は無料のアプリを使ってテンプレートをなぞったり絵を描き加えたりしながら、アニメーションを制作しました。



参加した小学5年の松田悠志さんは「自分の描いた絵を動かしたくて参加しました。これからもアプリでアニメを描いていきたい」と話していました

地域を守るボランティア 消防団員を募集しています

市消防団では、新入団員を募集しています。消火・救助・防災活動などを行う団員のほか、女性消防団員、式典などで活躍中のラッパ隊も募集しています。

「自分のまちは自分で守ろう」という意気込みのある人やボランティア精神のある人、消防団に入団してみませんか。詳しくは、危機管理課まで問い合わせください。

◆消防団員とは？

本業を他にもつ人が、消防団員として活動します。火災・地震・台風などの災害発生時、消防署と一体となり、迅速に消火活動や救助活動を行います。また、災害を未然に防止するため、火災予防の広報や地域の防災訓練に参加しています。

市消防団は、25の部や女性団員、支援団員（ラッパ隊を含む）により構成されています。
※ラッパ隊員は式典やイベントで演奏のみの活動です。一般団員との兼務も可能です。

◆報酬などの支給

年間一定の金額が報酬として支給、また災害や訓練の出動時には手当が支給されます。

◆公務災害補償

活動中の負傷や事故は補償制度があります。

◆入団資格

18歳以上で、小林市内に居住か勤務する人。男女は問いません。

◆問い合わせ

危機管理課 TEL 23 - 1175



安心安全の誓いを新たに 2年ぶりに消防団出初式開催

1月9日、令和4年消防団出初式が訓練広場で行われました。当日は感染症対策のため、例年より人数を制限して開催。勤務成績優秀者に贈られる県知事表彰をはじめ、各種表彰があったのち、市長から「複雑かつ多様化する大規模災害に備え、奉仕的消防精神を堅持し、一層の精進をお願いします」と団員への訓示がありました。



式の最後に行われた一斉放水では代表となった4つの部が、新春の空に4色の水を放水し、令和4年の消防団活動の始まりを告げました

落語を鑑賞し自ら挑戦

1月11日、須木総合ふるさとセンターで須木中学校の生徒が落語を鑑賞しました。上方落語と英語落語の公演後は、生徒が落語の仕草に挑戦。3年の前田理稀さんは、「臨場感を出して蕎麦をすする演技が難しかった」と感想を述べました。



お気に入りの陶磁器を制作

1月18日、須木総合ふるさとセンターですき学園の陶芸教室が行われました。有馬晴成さんを講師に迎え、参加者は茶碗や小皿など思い思いに製作しました。ペン立てを作った富永二十六さんは「完成したら大切に使いたい」と話しました。



郷土の誇りを胸にチームでつないだ 12 区間 第 12 回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会

1月10日、県内の市町村代表ランナーがしのぎを削る「市町村対抗駅伝競走大会」が2年ぶりに宮崎市で開催されました。市からは、予選を勝ち抜き選ばれた小学生から50歳代の12人が、第3回大会以来の優勝を目指し出場。序盤からトップ争いを繰り広げましたが、惜しくも3位となりました。レース中は12区間で5区間で区間賞をとるなどの素晴らしい走りをみせました。



熟練の技術をマイスターに学ぶ

12月16日、優れた技能と経験を持つ「ものづくりマイスター」による体験教室が紙屋中学校で開催されました。生徒たちは6人のマイスターに教わりながら、ミニ造景と切り絵制作に取り組み、ものづくりに対する理解を深めました。



交通事故ゼロの決意を新たに

1月6日、交通安全の意識を高め、交通事故のない地域になるよう祈願する、交通安全祈願祭（主催：小林地区交通安全協会野尻支部）が紙屋地区の石瀬戸交通安全地蔵前で行われました。歩行者の道路横断などに十分注意しましょう。



◆出場選手（★=区間賞）

1区内村 凌（★区間新）、2区春田 珠空、3区後藤 秀波、4区中尾 陽伽、5区堀之内 邦洋（★区間タイ）、6区鶴 優希（★）、7区園田 亮介、8区池間 凜斗（★）、9区河島 椿、10区松田 佳樹、11区今村 洸士郎（★区間新）、12区一篠 空音



福祉への関心を育てる活動

12月27日、体験を通して思いやりの心を育むことなどを目的としたボランティア体験（主催：社会福祉協議会）が行われました。市内小・中学生23人が参加。市内各所での街頭募金活動や、高齢者施設へ贈るしめ縄を作成しました。



現地の話を聞き未来を考える講演会

1月13日、細野中学校でよりよき未来を考える講演会が行われました。国連難民高等弁務官事務所ヨルダン事務局に勤務する進藤弘騎さんが、現地からオンライン講演を行い、世界の貧困や難民問題など現地の実情について話をしました。

